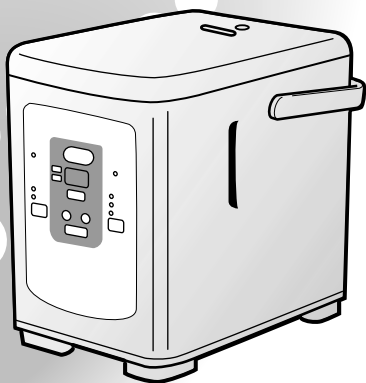
MITSUBISHI

三菱 加湿機（スチームファン式）

形名
エスブイ エス ディー
SV-S30D

取扱説明書

〈**保証書付**〉 裏表紙に付いています

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

もくじ

ページ

使うまえ

使いかた

こんなとき

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 裏表紙の「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書（保証書）」は大切に保管してください。

上手な使いかた

こんなときには、この運転がおすすめ！

こんなときに	運転	内容	参照
かぜが流行する時期に	のどガード	のど粘膜の乾燥を防ぐよう、自動的に運転します。	のど/肌 P12
お肌のカサカサ予防に	うる肌モード	肌の水分量を保つよう、自動的に運転します。	のど/肌 P12
湿度を何%にしたら良いかわからないときに	「のどガード」または「うる肌モード」をご使用ください。自動的に運転します。		P12
結露をおさえながら加湿したいときに／給水の手間を減らしたいときに	ひかえめ	加湿量をおさえて、自動的に運転します。	運転切換 P13
ずっと加湿していたいときに	連続	お部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。	運転切換 P13
お好みの湿度で加湿したいときに	湿度設定	設定した湿度を保つよう、自動的に運転します。おすすめ湿度は50～60%です。	運転切換 P13
香りを楽しみたいとき、リラックスしたいときなどに	アロマスチーム	加湿しながらアロマを楽しめます。	P14

よくあるご質問

蒸気が出ないけど、加湿してるの？

- 高温の蒸気を、風で冷却しながら吹出すため、室内の温度・湿度によっては**蒸気が見えなくなります。**
- 連続加湿以外では「間欠運転」を行ないます。ヒーターOFFのときも送風ファンは回っていますが、蒸気は出ません。P13

湿度が上がらないのはなぜ？

- お部屋が広いと、湿度が上がりにくくなります。適用床面積を確認してください。P12・22
- 窓や出入口の開閉が多いと、換気率が高くなり、湿度が上がりにくくなります。

現在湿度がいつも高いのはなぜ？

- 運転開始直後は、本体内部の温度・湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定しません。
- 気密性の高い部屋や狭い部屋では、空気の循環が悪いため、湿度表示が高くなります。

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	電源プラグを抜く
分解禁止	水ぬれ禁止	感電に注意（本体表示）
接触禁止	指示を守る	やけどに注意（本体表示）

⚠警告

幼児の手の届く所や、不安定な場所では使わない

禁止

転倒すると約60℃のお湯がこぼれてやけどの原因になります。

蒸気吹出口、吸気口に異物を入れない

禁止

感電・やけどの原因になります。

蒸気吹出口にさわらない、顔などを近付けない

禁止

約70℃の蒸気が出るためやけどの原因になります。

使用中・使用直後(約60分)は持ち運ばない、お手入れをしない

接触禁止

やけどの原因になります。

フード・蒸気ガイド筒・フィルターガイド P8 **をはずしたまま使わない**

禁止

熱湯が吹き出してやけどの原因になります。

本体を水につけない、水をかけない、直接水をいれない

水ぬれ禁止

本体底面・吸気口・プラグ受け・送風パイプから水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

蒸発皿のお手入れに下記の洗浄剤を使用しない

塩素系、酸性、アルカリ性、クエン酸(加湿器用洗浄剤・ポット洗浄剤)

禁止

蒸発皿に洗浄剤が残り、有毒ガス発生や、蒸発皿に穴があいて水漏れの原因になります。

修理・分解・改造はしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

修理はお買上げの販売店または「三菱電機修理窓口」へご連絡ください。P23

ぬれた手で電源プラグ・マグネットプラグを抜差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

⚠ 警告

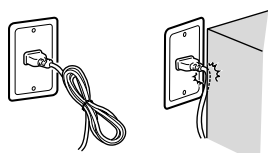
マグネットプラグにピンやごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

マグネットプラグをなめさせない

乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。感電・けがの原因になります。

電源コードを傷つけない

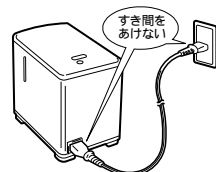
加工したり束ねたりしない、引っ張らない、はさみ込まない、上に物をのせない、コードの根元を曲げたまま使用しない

破損して、火災・感電の原因になります。

排水するときは、フード、蒸気ガイド筒・フィルターガイドをはずして排水方向に排水する P15~17

手順と排水方向を誤ると、送風パイプから水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

AC100Vのコンセントを単独で使用する

AC100V以外、または他の器具と併用すると火災・感電の原因になります。

マグネットプラグ・電源プラグは根元まで確実に差込む

火災・感電の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

お手入れは電源プラグ・マグネットプラグを抜いてから行なう

感電の原因になります。

定期的に電源プラグ・マグネットプラグ・プラグ受けのほこりを取る

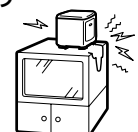
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

故障・異常時には、直ちに使用を中止する

- スイッチを入れても運転しないときがある。
- 水漏れする。
- 本体・電源コード・プラグが異常に熱い。
- 運転中異常な音や振動がする。
- コゲ臭い。
- 運転音が異常に大きくなる。
- 取付ネジが腐食、ゆるんでいる。
- 漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

火災・感電・けがの原因になります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

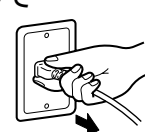
暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルなどの上に置かない

転倒すると感電・ショートの原因になります。
また本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。

落としたタンク・本体を使わない

そのまま使うと破損箇所から水漏れして、ショート・感電・発火の原因になります。
お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。P23

ハンドルを持って振り回さない

落とすとけがの原因になります。

電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く

ななめに引き抜いたり、コードを持って引き抜くと、プラグの刃や芯線が破損してショート・感電・発火の原因になります。

使わないときは電源プラグ・マグネットプラグを抜いて排水する

絶縁劣化して漏電火災・感電・水漏れの原因になります。

アロマポットを幼児の手の届くところに置かない P14

誤飲の原因になります。

お願い

製品の破損・劣化・誤動作や物損を防止するために、この欄をお読みください。

水道水・井戸水（飲用）以外は使わない

40°C以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水などを使用すると、故障の原因になります。（アロマオイルは、アロマポットに入れてお使いください P14）
また、井戸水を使用すると、本体内部に付着する水アカが多くなることがあります。こまめにお手入れしてください。

こまめにお手入れする

蒸発皿に水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や誤動作・故障の原因になります。付着する水アカの色（白・茶・黒）や固さは、水質によって異なります。P15~18

加湿しすぎない

天井や壁が結露したままで加湿を続けると、カビが生える原因になります。結露しはじめた場合は、運転を終了するか、「ひかえめ」または「湿度設定（40～50％設定）」でお使いください。P13

凍結に注意する

凍結のおそれがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。凍結するとタンク破損の原因になります。また、凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

効率良く加湿するポイント

■温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用する

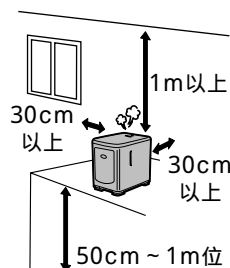
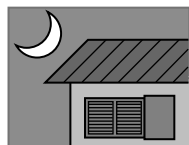
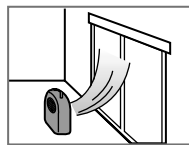
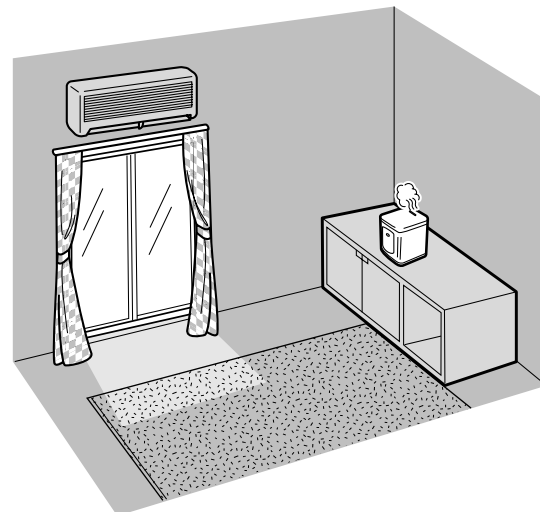
- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たらないところ
- 吸気の温度が0～35℃のところ
- 同じ部屋で加湿機を2台以上使うときは、60cm以上離して使用する

■室内の湿度ムラをなくす

床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。空気循環用の送風機（サーキュレーター・エアコン）などを使って、室内の空気を循環させてください。

■室内の結露を防止する

- 加湿機の周囲をあける
  - ○天井から1m以上離す
    蒸気は暖かいため上にあがり、天井が結露しやすくなります。
  - ○壁・窓から30cm以上離す
    壁の温度は室内中央より低いため、結露しやすくなります。
  - ○床から50cm～1m位離す
    湿度の分布ムラを防ぎます。

1m以上
30cm以上
30cm以上
50cm～1m位

- 夜間の加湿は雨戸を閉める
  冷たい外気をシャットアウトし、気温差を小さくします。（外気温と室温の差が大きいと結露しやすくなります）

- 窓に風をあてる
  サーキュレーターや扇風機などを使うと、結露をおさえられます。

※それでも結露がひどいときは、「ひかえめ」または「湿度設定（40～50%設定）」でお使いください。
（状態によっては結露がなくならない場合もあります）

こんなところでは使わないでください

- **暖房機の上や近く、温風や直射日光があたるところ**
  変形・変色の原因になります。また、センサーが誤動作することがあります。
- **家具・壁・カーテン・天井などに蒸気が直接あたるところ**
  しみが付いたり、変形の原因になります。
- **電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ**
  正常に動作しない場合があります。
- **毛足の長いじゅうたんやふとんの上**
  本体側面の吸気口がふさがれると、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤動作することがあります。

おねがい

- お子さまやペットが、本体やコードにいたずらをしないよう、ご注意ください。また、つまづかないよう、ご注意ください。けがの原因になります。
- フローリングの床に水をこぼしてしまった場合は、すぐにふきとってください。ぬれたままにしておくと、白く変色する原因になります。

湿度について

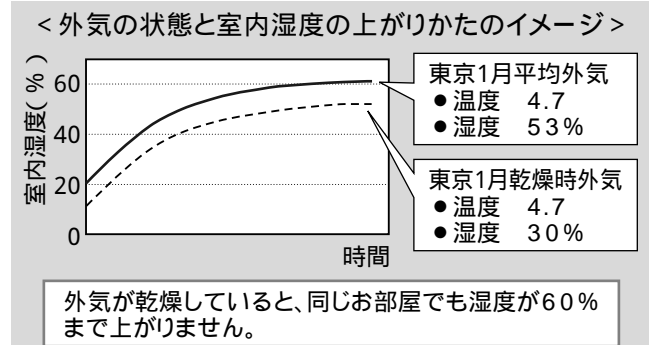
■のどや肌に良い湿度は、55～65%と言われています。

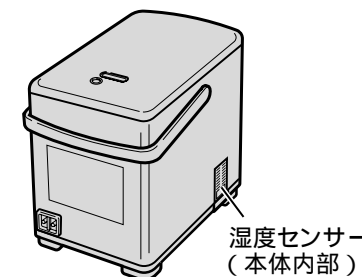
しかし、この湿度を保つと、外気温や室温によっては結露します。結露をおさえながら上手に加湿してください。

■適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の状態（換気率）や外気の乾燥の程度によっては湿度が上がりにくい場合があります。

仕様（22ページ）の「適用床面積」は、日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいた数値であり、「東京の1月の平均気温・湿度のときに、室温20℃の部屋で湿度を60%に維持する床面積」を基準として表記しています。

＜外気の状態と室内湿度の上がりかたのイメージ＞

外気が乾燥していると、同じお部屋でも湿度が60%まで上がりません。

現在湿度表示について

■現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度を表示します。

- 運転開始直後は本体内部の温度・湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまでに約10分かかります。
- 同じ室内でも場所によって湿度が違います。ご自宅の状況に応じて設置してください。

■他の湿度計と現在湿度表示が違うことがあります。

湿度計によって測定方法が異なるためです。市販の湿度計には、大きく分けて2つの方式があります。

方式	応答速度	一般的な有効範囲
バイメタル式 家庭用として普及しているタイプ	やや遅い	35～75% 低湿・高湿の測定が苦手といわれています
電気式 この加湿機で採用	やや速い	30～80%

- 湿度計と当社加湿機とでは応答速度が違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。
- 有効範囲が異なりますので、30%付近・70%付近では湿度差が生じやすくなります。

現在湿度表示がいつも高いときは

北側にある部屋や、浴室などの水回りに近い部屋には湿気がこもりやすいため、湿度が高い場合があります。
風通しの良いところで運転しても状態が変わらないときは、右記の手順で湿度センサーが正常か確認してください。

＜使用するもの：ドライヤー＞
①エアフィルターを取りはずす。（はずさないと熱で変形します）
②「現在湿度」表示中に、ドライヤーの温風を吸気口から15cm程度離し、約1分間当てる。（出力切換がある場合は、「弱」で）
→湿度表示が下がってくれば正常です。下がった後、しばらくすると湿度表示が上がることも確認してください。
※本体の温度異常検知により、U2 を表示した場合には、約10分間待ってから、再度運転スイッチを「入」にしてください。

各部のなまえとはたらき

本体

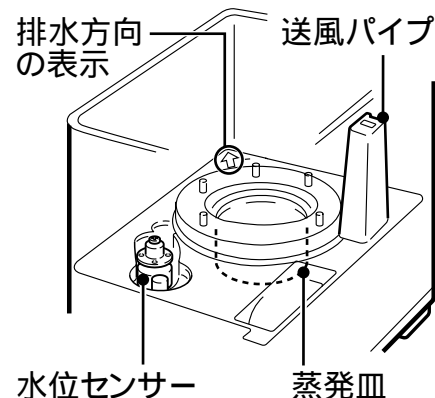
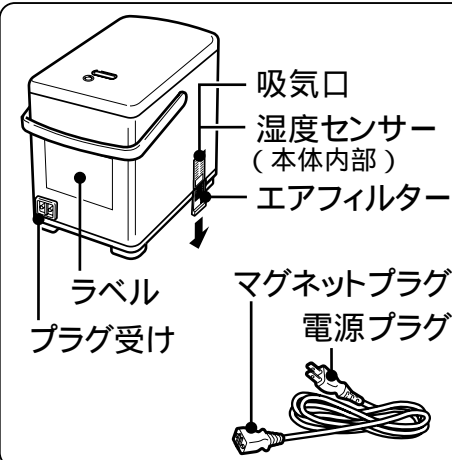
カバー
蒸気吹出口
タンク
アロマポット P14・19
（消耗品）
タンクキャップ
蒸気吹出口
フック
フード
蒸気ガイド筒
クリーニングフィルター
（消耗品） P19
フィルターガイド
ハンドル
水位窓（目盛り付）
操作部
本体

本体内部

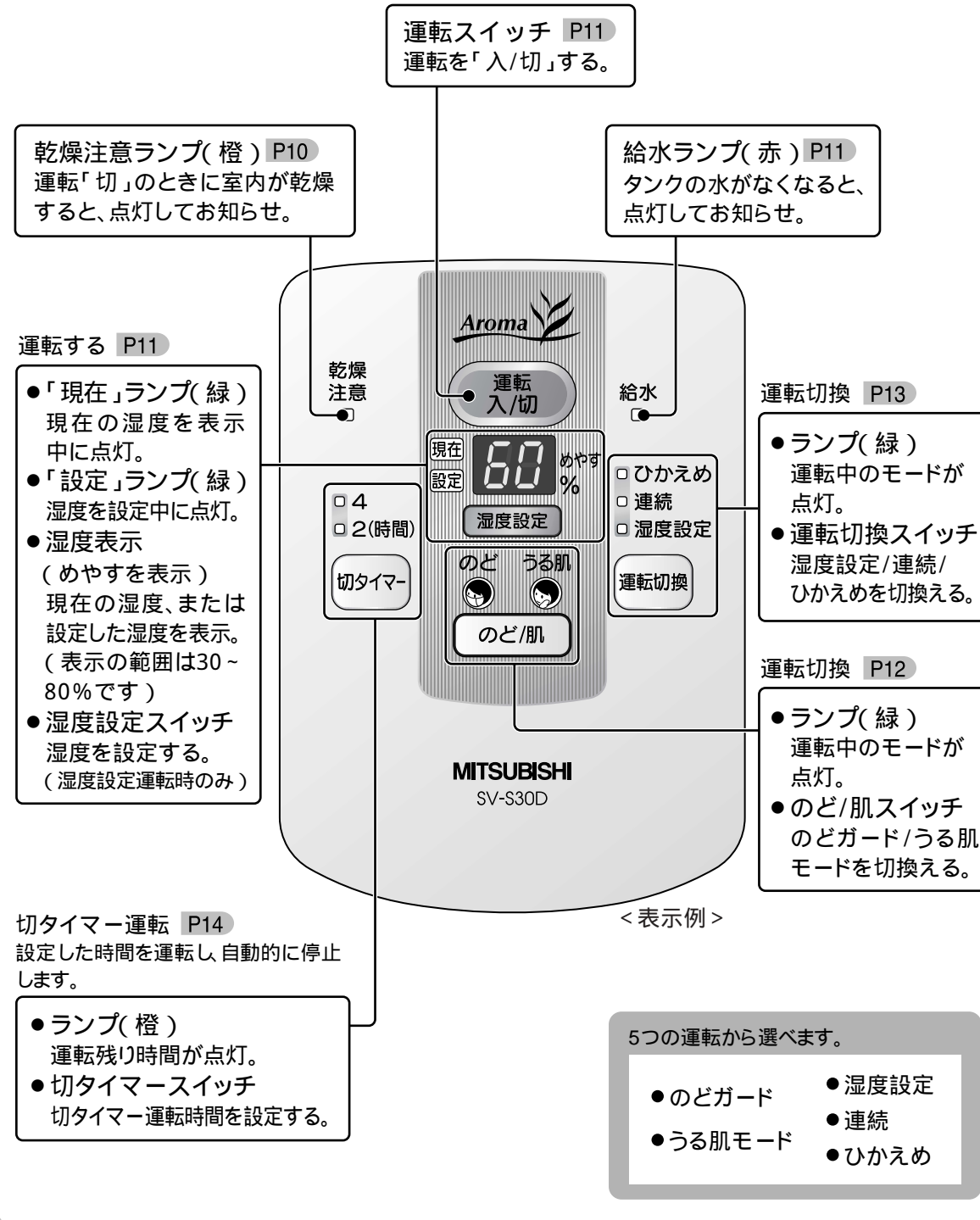
タンク・フード・蒸気ガイド筒・フィルターガイドをはずした状態

排水方向の表示
送風パイプ
水位センサー
蒸発皿

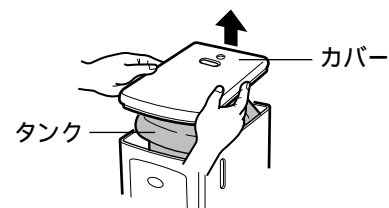
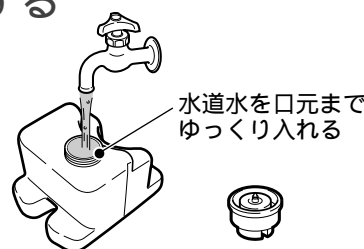
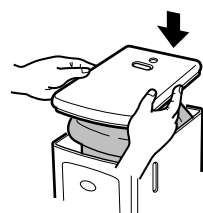
背面

吸気口
湿度センサー
（本体内部）
エアフィルター
ラベル
プラグ受け
マグネットプラグ
電源プラグ

※アロマオイル（エッセンシャルオイル）は付属していません。
アロマスチームをご使用になるときは、市販品のアロマオイルをお使いください。

操作部

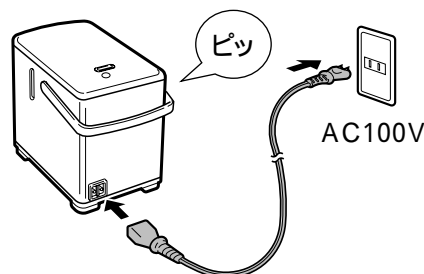
準備

アロマスチームを使いたいときは、運転を始める前にセットしてください。P14

給水する

1 タンクを取出す

2 給水する

3 タンクを本体にセットする

蒸発皿に水が満たされるまでに、
1分間程かかります。

おねがい
- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水などは使用しないでください。
- 井戸水を使うと、本体内部に付着する水アカが多くなることがあります。こまめにお手入れしてください。
- タンクのキャップをしっかり締めてください。締めづらいときは、キャップを1度開ける方向に回し、タンクとかみ合わせてください。

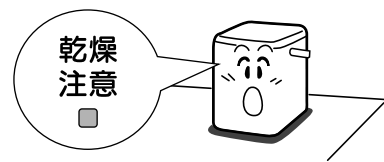
電源プラグをコンセントに差込む

①マグネットプラグを本体のプラグ受けに接続する
②電源プラグをコンセントに差込む

電源プラグをコンセントに差込んだときに室内の湿度が低いと、乾燥注意報が働きます。

おねがい この加湿機に付属のマグネットプラグは、三菱加湿機専用です。他の家電品のマグネットプラグは使用しないでください。

運転スイッチ「入」のままで電源プラグ・マグネットプラグを差し込むと、湿度表示部に oF が点滅し、運転しません。運転スイッチを入れ直してください。

乾燥注意報

乾燥注意報とは
運転「切」のときに室内の湿度が約40%以下になると、乾燥注意ランプが点灯してお知らせする機能です。（音は鳴りません）
加湿するめやすとしてお使いください。

運転「入」でも、次の状態のときには室内の乾燥をランプの点灯でお知らせします。
- 給水ランプ点灯時
- 切タイマー運転終了後

運転

運転する

● 湿度表示点灯

加湿を始めます。
お好みの運転を選んでください。P12~13

運転始めには次のような動作があります
- 蒸発皿が加熱されて蒸気が出るまでに4〜6分間かかります。
- 使いはじめの7分間は、湿度に関係なく強制的に加湿します。
- 現在湿度表示が安定するまで約10分間かかります。

ご使用開始直後、しばらくはゴム・プラスチック・塗料のニオイが気になる場合があります。ご使用するにつれてニオイは少なくなりますが、気になる場合は換気をしてください。

終了する

● 湿度表示消灯

運転終了後、6分間ファンが回ります
運転スイッチを切っても、本体内の温度の上昇を防ぐため、送風ファンが6分間回ります。（ヒーターが冷えているときは、送風せずに停止します）
送風ファンが止まってから、電源プラグを抜いてください。

再度、運転するときは
運転スイッチを「切」にしても設定を記憶しているため、同じ設定で運転を始めます。
ただし、電源プラグを抜いた場合は、湿度設定運転（60%設定）で運転を始めます。

湿度表示の見かた

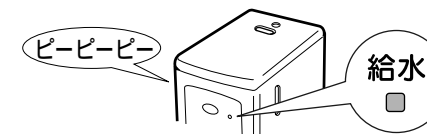
「現在」ランプ点灯中は、
現在の湿度を表示します。
現在湿度は30〜80%まで表示します。
めやすとしてお使いください。

「設定」ランプ点灯中は、
設定湿度を表示します（湿度設定運転時のみ）。
設定湿度を3秒間表示したあと、現在湿度表示に切換わります。

設定湿度を確認するには
湿度設定スイッチを押すと、3秒間表示します。そのあと現在湿度表示に切換わります。

給水ランプ

タンクの水がなくなって蒸発皿の水位が下がると、空だき防止のために水位センサーが働いて自動的に加湿を停止し、給水ランプの点灯とアラームでお知らせします。

運転スイッチを「切」にし、本体を約6分間さましてから給水してください。

- 切タイマー運転中のときは、給水ランプの点灯のみでお知らせします（アラームは鳴りません）。
- タンクの中に少量の水が残っている場合がありますが、故障ではありません。

＜続けて運転する場合は＞
①運転スイッチを押して、運転「切」にする
②本体を約6分間さます
③タンクに給水する（蒸発皿に水が満たされるまでに、1分間ほどかかります）
④もう1度運転スイッチを押して、運転「入」にする

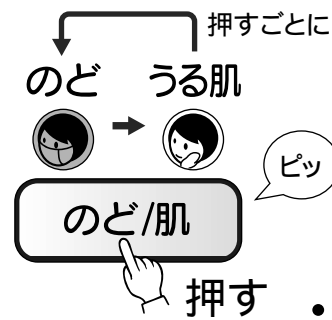
使いかた

運転切換

<のどガード・うる肌モード>

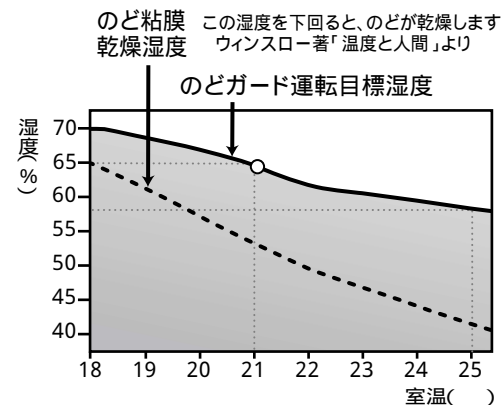
自動的に湿度を制御する運転です（湿度設定はできません）。より効果的に運転するために、
下記の適用床面積の範囲でお使いください。
かぜが流行する時期には「のどガード」、お肌のカサカサ予防には「うる肌モード」をお使いください。

のどガード・うる肌モード適用床面積

木造和室	～4.5畳（7m²）
プレハブ洋室	～7畳（12m²）

●選んだ運転のランプが点灯

● のどガード

湿度をみはり、その時の室温に最適な湿度に加湿し、のど粘膜の乾燥を防ぐ湿度を保ちます。

自動的に間欠運転*をして最適な湿度を保ちます。

<例>21℃のときの目標湿度は65%になります。

ポイント

のどガード・うる肌モードでは、のど・はだをうるおすために湿度を少し高めに設定しています。そのため、外気温と室温の差が大きいと結露しやすくなります。
「効率良く加湿するポイント」 P6 を読んで上手にお使いください。

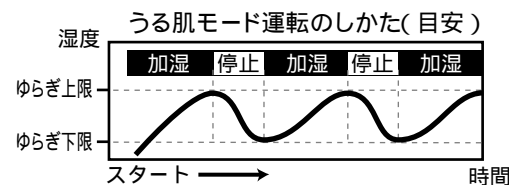
● うる肌モード

お肌に最適な湿度は、温度によって変わります。室温をみはり、間欠運転※でお肌のカサカサ予防に最適なゆらぎ加湿をします。

うる肌モードは、ときどき加湿を停止する**「ゆらぎ加湿」**で、過加湿による部屋のジメジメを抑制しながらお肌にうるおいを与え、静電気によるお肌へのホコリ付着も減らします。

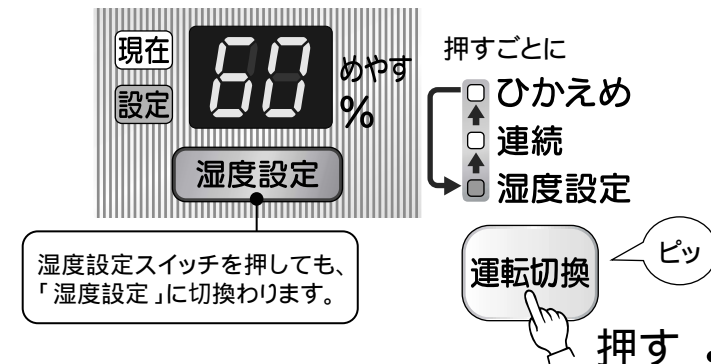
うる肌モード運転時の室温と湿度の関係

室温	ゆらぎ上限	ゆらぎ下限	備考
17℃以下	75%	65%	室温が低いときは、高めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お肌をしっかりガードします。
18～24℃	65%	55%	ゆらぎ加湿を行ない、お肌にうるおいを与えます。
25℃以上	60%	50%	室温が高いときは、低めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お部屋の結露を抑制します。

うる肌モード運転のしかた（目安）

●加湿・停止の間隔や湿度の上昇は、環境によって変化します。

<湿度設定・連続・ひかえめ>

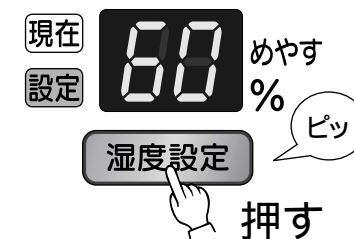
自分で湿度を設定したいときは「湿度設定」、連続して加湿したいときは「連続」、
加湿量をおさえて加湿したいときは「ひかえめ」をお使いください。

湿度設定スイッチを押しても、「湿度設定」に切換わります。

●選んだ運転のランプが点灯

● 湿度設定

設定した湿度を保つように自動的に運転します。

➡ お好みの湿度を設定してください。
自動的に間欠運転*をして最適な湿度を保ちます。

<湿度を設定するには>

- 押すと「設定」ランプが点灯し、現在の設定湿度を表示します。（約3秒間表示）
- 「設定」ランプ点灯中に押すと、押すごとに設定湿度が変わります。

押すごとに

40 ▶ 45 ▶ 50 ▶ 55 ▶ 60 ▶ 65 ▶ 70

65%・70%に設定すると、結露する場合があります。また、部屋の広さや状態によっては湿度が上がらない場合があります。

● 連続

温度・湿度に関係なく加湿を続けます。

- 湿度を設定することはできません。

連続加湿をすると、結露しやすくなります。結露しはじめた場合は運転を終了するか、他の運転に切換えてください。

● ひかえめ

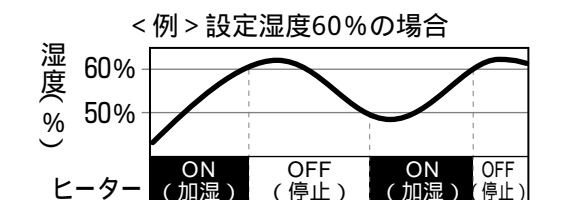
湿度をみはり、湿度40～50%の間欠運転*をして加湿量をおさえ、ほどほどにゆらぎ加湿をします。

- 湿度を設定することはできません。

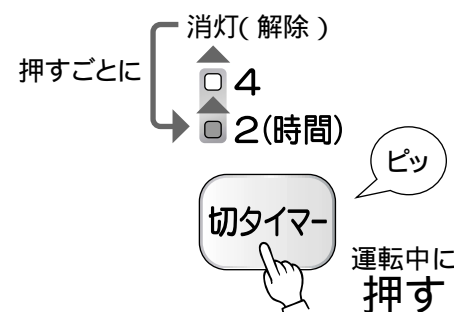
*間欠運転とは？

目標の湿度に達すると加湿を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。

- 加湿と停止の時間は、運転モードや設定湿度により、異なります。
- ヒーターOFFのときには蒸気は出ません。（冷たい風を吹出します）
- 運転中は、ヒーターのON・OFFにかかわらず、常に送風ファンが回っています。

<例>設定湿度60%の場合

切タイマー運転

おやすみのときなどにお使いください。
運転時間を2時間／4時間から選ぶと、選んだ時間で運転したあと、自動的に運転を停止します。（給水してから運転してください）

セットする

●選んだ時間のランプ点灯（切タイマー運転開始）

ランプの見かた

ランプ	■4 □2(時間)	□4 ■2(時間)
運転残り時間	4〜2時間	2時間以下

切タイマー運転中にタンクの水がなくなると、給水ランプの点灯のみでお知らせします。（アラームは鳴りません）

解除する

切タイマー運転中

運転スイッチを押す。（運転「切」）
または、切タイマースイッチを押す。
（切タイマーランプ消灯）

切タイマー運転終了後

2時間ランプが点灯したまま停止します。
運転スイッチを切ってください。

運転スイッチを押す。（運転「切」）

アロマスチーム

市販のアロマオイル（エッセンシャルオイル）を使うと、加湿しながら香り（アロマ）を楽しむことができます。
オイルのセットは、運転する前に行ってください。

1 アロマポットを取出し、キャップをはずす

2 アロマオイルを入れる

オイルを、蒸発皿やタンクに直接入れないでください。

アロマオイルの取扱いについては、オイルに付属の取扱説明書をお読みください。

3 キャップをしてポットを戻す

⚠注意
●アロマポットを幼児の手の届くところに置かない。誤飲の原因になります。

おねがい
・オイルが本体についたらすぐにふきとってください。変色する場合があります。
・アロマポットは、使用後洗ってください。

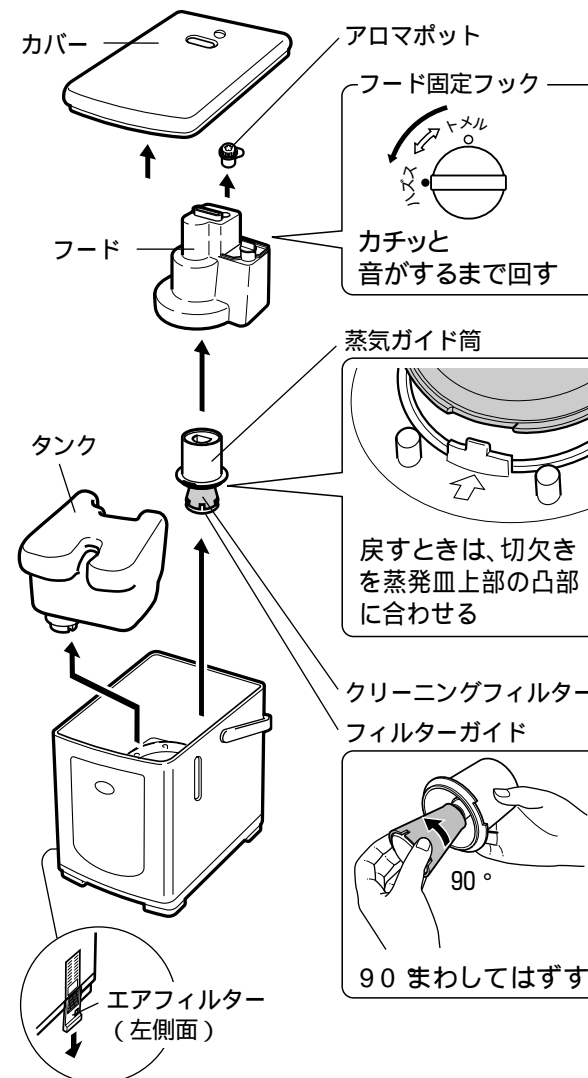
持ち運ぶときは

①運転スイッチを押して、運転「切」にする
②本体を約60分間さます
③電源プラグを抜く
④ハンドルの中央を持って運ぶ

お手入れ

手順

1 電源プラグ・マグネットプラグを抜く

2 各部をはずす

3 お手入れする

週に1回	本体内部・エアフィルター	P16~18
汚れたとき	タンク・本体	P18
アロマスチーム使用後	アロマポット	P18

4 各部を元に戻す

⚠警告

●使用中・使用直後（約60分）はお手入れをしない。
やけどの原因になります。

●本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。
火災・感電・ショートの原因になります。

●お手入れは電源プラグ・マグネットプラグを抜いてから行なう。
感電の原因になります。

●蒸発皿のお手入れにクエン酸（ポット洗浄剤）等を使わない。
有毒ガス発生や、穴があいて水漏れの原因になります。

週に1回

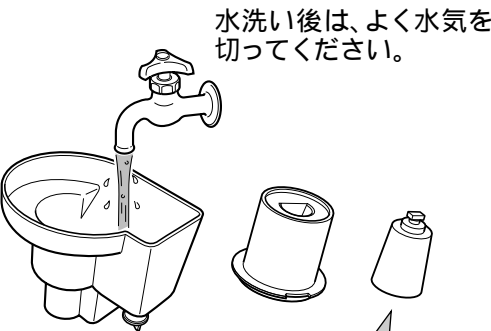
本体内部

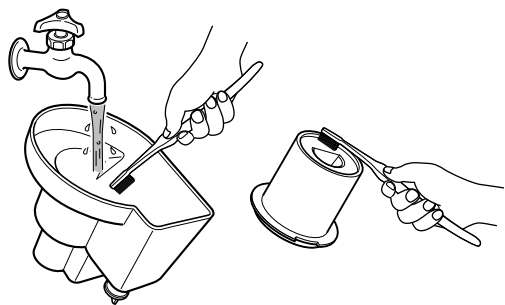
加湿していると水槽や蒸発皿に水アカが溜まります。水アカを放置すると固くなり、取れにくくなります。
固まってしまう前に、週に1回は必ずお手入れしてください。水アカの色（白・茶・黒）や固さは水質によって異なります。

おねがい
本体内部のお手入れには洗剤を使わないでください。蒸気吹出口から泡が吹出す原因になります。

お知らせ
- 水アカは、水道水に含まれているミネラル分（カルシウム・マグネシウム等）が固まったものです。
- 水アカが溜まるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や水漏れの原因になります。

1 フード・蒸気ガイド筒・フィルターガイドを水洗いする

水洗い後は、よく水気を切ってください。

加湿していると中に水（お湯）が溜まりますが、そのままご使用いただけます。

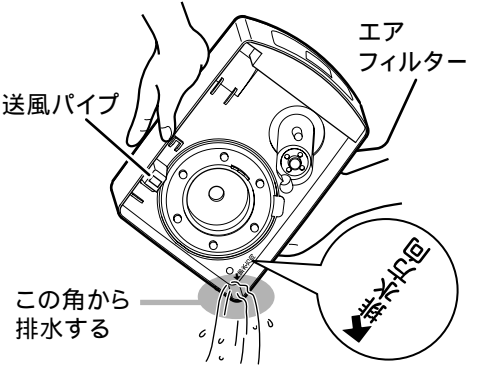
＜水アカが落ちにくいときは＞
歯ブラシ、もしくはスポンジでこすり洗いし、よく洗い流してください。

お知らせ
水アカが付着したまま運転すると、蒸気吹出口から白い粉状の水アカが吹出す場合があります。

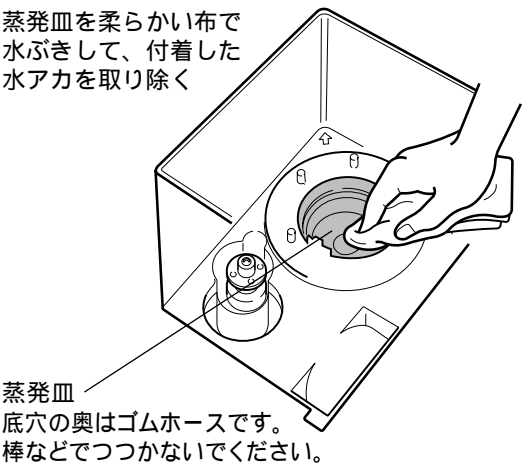
2 クリーニングフィルターを水洗いする

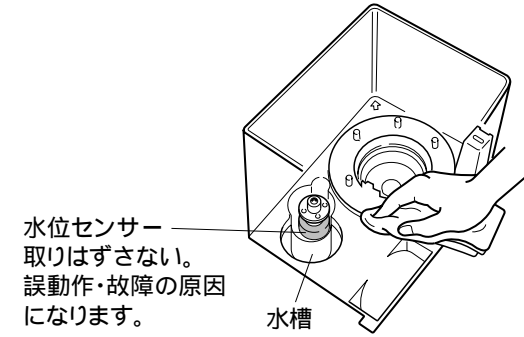
水でもみ洗い

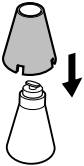
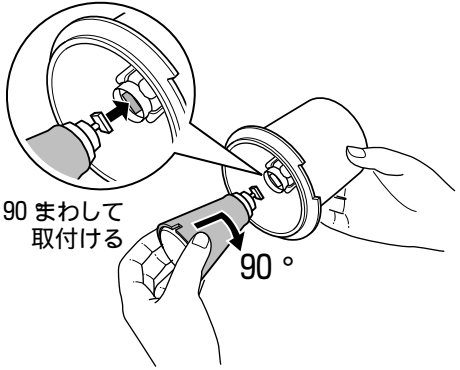
水アカなどを吸着し、蒸発皿につく汚れを減少させます。長持ちさせるために、こまめに水洗いすることをおすすめします。
破れたり、水アカがついて固くなったら交換してください。 P19

3 水と水アカを捨てる

本体内部の「排水方向」を確認し、矢印表示の角から排水する

おねがい
- エアフィルター・送風パイプの穴に、水が入らないように排水してください。
  水が入ると、故障の原因になります。
- 多少水アカが残っていても使用できますので、蒸発皿を金属タワシ等でこすらないでください。蒸発皿の塗膜層に傷がつくと、蒸発皿が腐食する原因になります。

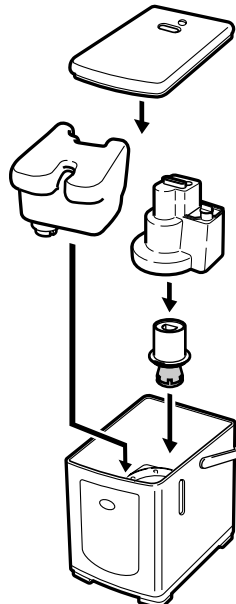
4 蒸発皿の水アカを取り除く

＜蒸発皿の水アカが落ちにくいときは＞
水アカを割りばしや歯ブラシ等でこすり取り、給水したタンクをセットして、再度排水してください。

5 本体内部のゴミを取り除き、柔らかい布で水ぶきする

6 各部を元に戻す

①フィルターガイドにクリーニングフィルターをかぶせる

②蒸気ガイド筒にフィルターガイドを取付ける

③②を蒸発皿にかぶせる

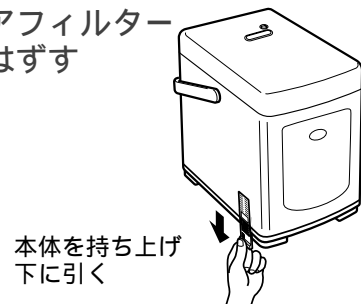
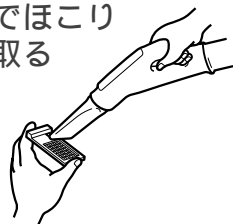
④本体にフードを取付ける

⑤本体にタンクを取付ける

⑥本体にカバーを取付ける

おねがい
蒸気ガイド筒は、転倒時のお湯の流出量を抑える部品です。忘れずに取付けてください。

お手入れ（つづき）

週に1回程度

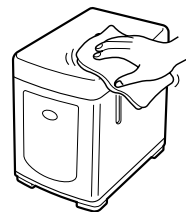
エアフィルター

おねがい 汚れがひどくなると蒸気の出が弱くなったり、湿度検知ができなくなります。安全装置が働く場合もありますので、こまめに掃除してください。

汚れたとき

タンク

水を捨て、
少量の水を入れて
振り洗いする

本体

柔らかい布で
ふく

汚れがひどいときは、
中性洗剤にひたした柔らかい布を
固くしぼってふきとり、からぶきする。

おねがい 変質・変色防止のため、ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんはその注意書きにしたがい、使用してください。

アロマスチーム使用後

アロマポット

1 中性洗剤で洗い、水で洗い流す

2 水をふきとる

アロマポットにオイルがこびりついたら交換してください。

おねがい オイルが手についた場合は、せっけんでよく洗ってください。

消耗品の交換

交換時期がきたら、新しいものと交換してください。
交換時期は、使用環境により異なります。

クリーニングフィルターの交換

破れたり、水アカがこびりついたら、交換してください。

カバー・タンク・フードをはずして蒸気ガイド筒を取出す
フィルターガイドをはずし、クリーニングフィルターを交換する P15~17

アロマポットの交換

オイルがこびりついたら、交換してください。

カバーをはずしてアロマポットを交換する P14

消耗品

●クリーニングフィルター

- ●形名　SVPR-111FT
- ●形名コード　56N 142
- ●サービス部品番号：M48 56N 142

●アロマポット

- ●サービス部品番号：M43 P46 340A

お買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機修理窓口」にお問合わせください。P23

保管と廃棄

保管するとき

1 お手入れ P15~18 のあと、よく水をふき取ってかげ干しする

2 お買上げ時の包装箱に入れるかポリエチレン袋などで包み、保管する

おねがい
- 高温になるところを避け、湿気の少ない所で保管してください。
- 付属のマグネットプラグも本体と一緒に保管してください。

廃棄するとき

各自治体の指定にしたがって廃棄してください。

- クリーニングフィルター
  材質：ポリプロピレン繊維
- アロマポット
  材質：ポリプロピレン樹脂
- 本体
  （分解せずに、ゴミ捨て規則にしたがって廃棄してください。）

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。未然にトラブルを防止し安心してご使用いただくために、シーズン終了後などにお買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機　修理窓口」(23ページ)に点検依頼されることをおすすめします。定期点検・部品交換の費用は、お客さまにご負担いただきます。

故障かな？と思ったら

下記の症状については、原因・処置方法の欄をお読みください。

状態		原因・処置方法	参照
蒸気	蒸気が見えない	●超音波式とは違い、高温の蒸気を風で冷却して加湿するため、室内の温度・湿度によっては蒸気が見えなくなります。タンクの水が減っていれば、加湿しています。	
	蒸気が出ない	●「連続」運転以外では、間欠運転を行ないます。	P12~13
		●マグネットプラグがはずれていませんか。　→正しく接続してください。	P10
		●蒸発皿、クリーニングフィルター、エアフィルターが汚れていませんか。 →お手入れのしかたにしたがって掃除してください。	P15~18
	■２(時間) 点灯	●タイマー運転終了後ではありませんか。 →タイマー運転を解除してください。	P14
	給水 ■点灯	●タンクの水がなくなっていませんか。 →タンクに給水し、運転スイッチを入れ直してください。	P10・11
	蒸気がにおう	●水道水に含まれる塩素のにおいや、本体のプラスチックのにおいがすることがあります。	
湿度	湿度が上がらない	●部屋が広すぎませんか。→適用床面積の範囲でお使いください。	P12・22
		●窓や出入口の開閉が多いと能力不足となり、湿度が上がりにくい場合があります。 ●部屋の壁材・床材や木製の家具が乾燥状態にある場合は、湿度が上がりにくくなります。 →３～４週間様子を見てから、湿度が上がるかご確認ください。 ●窓や天井が結露していると、湿度が上がらない場合があります。	
		●エアフィルターが目づまりしていませんか。 →エアフィルターをお手入れしてください。	P18
	湿度が高くなっても蒸気が止まらない	●連続加湿で運転していませんか。	P13
		●直射日光や暖房機の温風が直接本体にあたっていませんか。 →正しい設置場所で使用してください。	P6
現在湿度	現在湿度がいつも高い	●北側にある部屋や、浴室などの水回りに近い部屋は湿気がこもりやすいため、湿度が高い場合があります。	P6~7
	現在湿度が設定湿度より高くなる	●運転開始直後は、本体内部の温度・湿度の影響を受けるためです。 →現在湿度表示が安定するまで、しばらくお待ちください。	P7
		●気密性の高い部屋、または狭い部屋で使用していませんか。 →室内の空気を循環させてください。	P6
	加湿機の現在湿度と他の湿度計の表示が違う	●同じ部屋でも、場所によって湿度差があるためです。	P6~7
		●加湿機の湿度センサーと湿度計では、精度や湿度の変化に対する応答の速さなどが違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。	P7
		●エアフィルターが目づまりしていませんか。 →エアフィルターをお手入れしてください。	P18
タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯する		●水位センサーがひっかかっていませんか。 →水位センサーの周りのゴミを取除いてください。	P17
		●給水したタンクをセットしたあと、運転スイッチを入れ直しましたか。 →ランプ点灯後に給水したときは、運転スイッチを入れ直してください。	P11

状態		原因・処置方法	参照
音がする	「ブクブク」という音がしたり止まったりする	●水が沸騰する音です。間欠運転をするため、聞こえたり止まったりします。	
	「ボコボコ」という音がする	●タンクから蒸発皿に水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。	
	「ブーン」という音がする	●ファンモーターが動いている音です。	
	はじける音がする	●アルカリイオン水を使用したり、芳香剤・アロマオイルなどの香料を水に混ぜていませんか。→故障の原因になりますので、使わないでください。	
カバーの裏側に、たくさんの水滴がつく		●フードが確実に取りつけられていますか。フードのフックがはずれていると、すき間から蒸気がもれて水滴がつきます。 →フードを確実にセットしてください。	P15
蒸発皿に水アカがつく		●水道水を蒸発させると、水に含まれているミネラル分が水アカとして固まります。水アカが溜まると誤動作の原因になります。 →こまめにお手入れしてください。	P15~17
フードが変色する(黄変・白変など)		●プラスチック部分に水アカが付着し、変色することがありますが、性能に問題はありません。	
運転スイッチを押しても電源が入らない		●運転スイッチを軽く押していませんか。 →運転スイッチをしっかり押し込んでください。	P11
デジタル表示	oF めやす% 点滅	●運転「入」のときに電源プラグ・マグネットプラグを抜き差ししませんでしたか。　→運転スイッチを入れ直してください。	P10
	U1 めやす% 表示	●本体を傾けたり倒したりすると、運転を停止して「U１」を表示します。 →本体を水平なところに設置し、運転スイッチを入れ直してください。	P3・11
	U2 めやす% 表示	●吸気の温度が0°C以下、または35°C以上になっていませんか。 （暖房機の温風が本体にあたっていませんか。） →吸気の温度が0°C～35°Cのところに設置し、運転スイッチを入れ直してください。	P6
		●壁やカーテンに近すぎませんか。→正しい設置場所で使用してください。	P6
		●エアフィルターが目づまりしていませんか。 →お手入れのしかたにしたがって掃除してください。	P18
	-- めやす% 表示	●フィルターガイドを正しく取りつけていますか。 →フィルターガイドを蒸気ガイド筒に取りつけ、本体にセットしてください。	P17
		●空だきになっていませんか。 →水位センサーの周りのゴミを取除き、給水してから運転スイッチを入れ直してください。	P15~17
		●蒸発皿が汚れていませんか。 →お手入れのしかたにしたがって掃除してください。	P15~17
	A1 A6 E0 E1 どれかを表示	●故障です。 運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。	P23

上記の処置をおこなっても状態が直らなかったり、異常表示が消えない、また水が漏れる場合は、運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23

仕様

形名		SV-S30D
電源		単相100V　50-60Hz
消費電力（定格電流）		260W（2.6A）
加湿量（最大加湿時）※1		290mL／h
連続運転時間※1		約7.2時間
運転音※2		27dB
適用床面積※3		木造和室8m²（5畳）
		プレハブ洋室13m²（8畳）
タンク容量		約2.1L
電源コード長さ		1.4m
寸法（高さ×幅×奥行き）		247×186×268mm
質量		2.3kg
安全装置	渇水時自動運転停止装置	水槽の水位が規定値より低下すると、運転を停止します。
	空だき防止装置	何らかの異常で、渇水時自動運転停止装置が働かない場合、蒸発皿の温度が121℃以上になると作動して運転を停止します。「故障かな？と思ったら（21ページ）」にしたがってお調べの上、運転スイッチを入れ直してください。
	温度過昇防止装置	万一、空だき防止装置も働かない場合は、この安全装置（温度ヒューズ96℃、169℃）が作動して全停止します。自然復帰はしません。
	室温異常時自動運転停止装置	室温が0℃以下になったり35℃以上になると、過加湿防止のため運転を停止します。室温が0℃を超え35℃未満の範囲になったとき、運転スイッチを入れ直すと復帰できます。
	過電流防止装置	何らかの異常で、基板の回路に過電流が流れた場合は、この安全装置（電流ヒューズ5A）が作動して全停止します。自然復帰はしません。

※1　加湿量・連続運転時間は室温20℃、湿度40～60%の室内で運転した数値です。　**待機電力量は、約1W・hです。**
※2　運転音は本体周囲1mで測定した平均値です。
※3　適用床面積はJEMA（日本電機工業会）規格（JEM1426）に基づく値です。

保証とアフターサービス

■保証書（裏表紙に付いています）

●保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から１年です
ただし、クリーニングフィルター等は消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この加湿機の補修用性能部品を製造打切り後、6年間保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（右一覧表）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●**「故障かな？と思ったら**（20～21ページ）**」**にしたがってお調べください。

●なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●**保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

●**保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

●**修理料金は**
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

●**修理部品は**
部品共用化のため、共通色に変更する場合があります。

●**ご連絡いただきたい内容**

1.　品　　名　三菱 加湿機
2.　形　　名　SV-S30D
3.　お買上げ日　　年　月　日
4.　故障の状況　(できるだけ具体的に)

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　② 法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーコール　**0120-139-365**（無料）（いつもサンキュー　365日）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	**(03) 3414-9655**（有料）

■ご相談対応　平　　日　　9：00～19：00
　　　　　　　土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

地域	県	窓口	電話
北海道・東北	北海道	東日本フロントセンター	
	宮城	東日本フロントセンター	
	青森	青森	(017)773-8381
		八戸	(0178)28-8544
	岩手	盛岡	(019)637-7454
		水沢	(0197)25-4511
	秋田	秋田	(018)865-4471
		横手	(0182)32-1785
		大館	(0186)42-2781
	山形	山形	(023)624-0018
		鶴岡	(0235)24-6161
	福島	郡山	(024)959-6543
		会津	(0242)27-4426
		原町	(0244)24-2842
		いわき	(0246)26-1822

地域	都県	窓口
関東・甲信越	東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉、栃木、群馬、山梨、新潟、長野（飯田地区を除く）	東日本フロントセンター
	長野（飯田地区）	西日本フロントセンター
東海	静岡	東日本フロントセンター
	愛知、三重、岐阜	西日本フロントセンター
北陸	石川、富山、福井	西日本フロントセンター

地域	府県	窓口	電話
関西	大阪／奈良、和歌山／、兵庫／京都、滋賀	西日本フロントセンター	
中国	広島／山口、島根／鳥取、岡山	西日本フロントセンター	
四国	香川／徳島、高知／愛媛	西日本フロントセンター	
九州・沖縄	福岡／佐賀	東日本フロントセンター	
	長崎	長崎	(095)834-1116
		佐世保	(0956)30-7740
	熊本	熊本	(096)380-0211
		八代	(0965)33-5173
	大分	大分	(097)558-8803
	宮崎	宮崎	(0985)56-4900
		延岡	(0982)21-3540
	鹿児島	鹿児島	(099)260-2421
	沖縄	沖縄	(098)898-3333

●東日本／西日本フロントセンター

フリーダイヤル　**0120-56-8634**（無料）

インターネット　**www.melsc.co.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
東日本フロントセンター FAX (03) 3424-1115（有料）	**(03) 3424-1111**（有料）
西日本フロントセンター FAX (06) 6454-3900（有料）	**(06) 6454-3901**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K09A

愛情点検	★長年ご使用の加湿機の点検を！	加湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

ご使用の際にこのようなことはありませんか	
	● スイッチを入れても運転しないときがある。 ● 水漏れする。 ● 本体・電源コード・プラグが異常に熱い。 ● 運転中異常な音や振動がする。 ● コゲ臭い。 ● 運転音が異常に大きくなる。 ● 取付ネジが腐食、ゆるんでいる。 ● 漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。 ● その他の異常や故障がある。

ご使用中止	
	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT790D104H01